# ジクワット液剤 **レグロックス**

**取扱メーカー:** シンジェンタ

**原体メーカー:** シンジェンタ

成分: ジクワットジブロミド [ビピリジリウム系 PRTR・1 種] …31.8%

性状:暗褐色水溶性液体

毒性:劇物 消防法:——

#### 

- ●非選択性接触型茎葉処理除草剤で、あらゆる植物の緑色部を速やかに枯らす。
- ●草種に関係なく強い殺草力を示すが、イネ科雑草よりも広葉の雑草に対してより強い除草効果を示す。
- ●作用の発現には温度はあまり関与しないので低温でも高い効果が得られる。
- ●土壌に接触すると直ちに不活性化するので、散布翌日からでも作物をは種植付でき、また生育中の作物に対しても根部吸収による薬害の心配がない。
- ●散布後極めて速やかに植物体に吸収されるので、散布後の降雨によって効果が左右されることは少ない。
- ●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一 覧表」を参照。

## 【使用上のポイント】…………

- ●雑草の茎葉に十分付着するように散布する。
- ●夕方あるいは曇天の日などに散布すると、散布 液が雑草全体に付着(伸展)するため、より安定 した効果が得られる。
- ●除草剤として使用する場合は,非イオン系展着 剤を加用する。
- ●ばれいしょの茎葉枯凋剤として使用する場合 ○展着剤は加用しない。
  - ○開花後30日以降又は茎葉の黄変期から枯凋期に噴霧器でばれいしょの茎葉によくかかるように散布する。
  - ○土壌が極端に乾燥している時の使用はさける。

### 【薬効・薬害等の注意】 …………

- ●低圧で風向きなどに注意し果樹や周辺の有用作物にかからないように散布する。
- ●公園, 堤とうなどで使用する場合, 特に以下のことに注意する。
  - ○激しい降雨の予想される場合は使用をさける。
  - ○散布薬液の飛散,あるいは本剤の流出によって有用植物に薬害を生じることのないよう十分 注意して散布する。
  - ○水源池,養殖池などに本剤が飛散流入しない ように十分注意する。
- ○散布にあっては、子供や散布に関係のない者が作業現場に近づかないように配慮すると共に居住者、通行人、家畜などに被害を及ぼさないよう注意を払う。
- ○散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう,散布地域の 選定に注意し,散布区域内の諸物件に十分留意 する。
- ○使用残りの薬剤は鍵のかかる安全な場所に保 管する。
- ●適用外作物(有用植物)への薬害などの注意は 「薬害注意事項解説」を参照。
- ●共通注意事項 8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

## 【安全対策上の注意】 …………

- ●医薬用外劇物。取扱いには十分注意する。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。
- ●本剤は、眼、皮膚に刺激性があるので注意する。

●散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。





●共通注意事項6. 街路・公園・堤とう等で使用する場合の注意事項を参照。

## 

「地元と「大元」									
作物名	適用場所	適用 雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の	使用	ジクワットを含む	
1 1 7 7 7 7				薬量	希釈水量	使用回数	方法	農薬の総使用回数	
果樹類		果樹園下草 一年生雑草	雑草生育期 但し,収穫 30日前まで	300 ∼ 500 mℓ	70 ~ 100 ℓ	5回以内	雑草葉	5 回以内	
ばれいしょ	_	一年生雑草	雑草生育期 (黄変期〜枯 凋期) 但し, 収穫14日前 まで	200 ∼ 300 mℓ		2回以内		2回以内 (茎葉枯凋は 1回以内)	
麦 類			雑草生育期 但し, は種 5~10日前	400 ml		1回		4回以内	
桑			雑草生育期 (春期発芽前 又は夏切後)					3回以内	
樹木等	公庭堤駐宅のり面関関う場地等		維草生育期	300 ∼ 500 mℓ		3回以内	植栽地を 除く樹田 等のの雑草 地に雑 事の 地に 業 散布		

作物名	使用目的	10 a 当り使用量		使用時期	本剤の	使用	ジクワットを含む
TF物石		薬量	希釈水量	使用時期	使用回数	方法	農薬の総使用回数
ばれいしょ	茎葉枯凋	200 ~ 300 mℓ 300 mℓ	70 ∼ 100 ℓ	黄変期〜枯凋期 但し,収穫14日前まで 開花後30日〜黄変期 (茎葉繁茂期) 但し,収穫14日前まで	1 回	茎葉 散布	2回以内 (茎葉枯凋は 1回以内)